



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.205 (2017-6)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2017.12.1発行

発行者：(公社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-3232
滋賀県湖南市平松519-37

編集者：小倉 正和 (公立甲賀病院)
大谷 明暉 (公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

第57回近畿理学療法学会を終えて

準備委員長 宇於崎 孝

平成29年11月12日(日)にびわ湖ホール、ピアザ淡海にて、第57回近畿理学療法学会を滋賀県が担当し開催いたしました。当日は、1,524名という準備委員が予想していた参加者を越えたたくさんの方に御参加いただき、大盛況で終わることができたことを準備委員一同、大変嬉しくまた安堵しています。まず、開催にあたり準備委員の方をはじめ、前日準備スタッフ45名、当日の運営スタッフ67名のご協力いただいた滋賀県士会員の皆様方、また滋賀医療技術専門学校17期生の31名に深く感謝いたします。準備委員会は約2年前から企画、準備を進めて何度も会議を重ねてきました。また、前日準備は夕方から夜遅くまで、そして当日は早朝から夕方まで一日立ちっぱなしの方もおられ、それぞれ担当業務にあたってくださいました。まずは、参加していただいた方々に、学会大会が滋賀県士会の準備委員、協力委員が一丸となって運営されていたことを知っていただきたいと思っております。

さて、今回の学会集では、口述発表52演題、ポスター発表83演題、合計135演題という非常に多くの発表をしていただくことができました。演題登録では、延長募集することもなく、十分すぎる演題申し込みがあり、準備委員も嬉しい悲鳴を上げておりました。ご発表頂いた演題では、各職場や現場での症例報告や研究機関での研究発表など、多種多様な発表があり、分科学会化した全国学会では聞くことができなくなった自身の専門分野以外での研究報告も多く聞いていただけたと思っております。

学会大会のテーマは、「包括化するシステムのなかであるべき理学療法士像—急性期から介護まで—」としました。“包括”ということばからまず連想されるのは、“地域包括ケアシステム”ですが、地域だけでなく、包括的心臓リハビリテーション、包括的呼吸リハビリテーションなど病院においてもこの“包括”ということばをキーワードとして捉えるべき時代となっています。いずれも医師、看護師をはじめとした他の医療職と連携することにより、最適なりハビリテーションサービスを提供しようとするものです。そこで、基調講演を(公社)日本理学療法士協会の齊藤秀之副会長より、本テーマに関わる協会のスタンスを中心にご講演いただきました。また、シンポジウムとして、急性期の視点から「急性期の包括的リハビリテーションとあるべき理学療法士像」、地域の視点から「地域包括ケアシステムの現状とあるべき理学療法士像」をテーマに各分野で先進的に取り組まれている講師にお話しいただきました。他にも、たくさんの方の講演を行い、司会は滋賀県士会のその道に精通した療法士にお願いし、いずれもスムーズで活発な議論を引き出していただきました。

理学療法士として、臨床・教育・研究だけでなく、こうした大会運営にかかわれたことは私の大きな財産です。理学療法士が急増し、様々な危機感を感じていると思いますが、数は力でもあります。滋賀県士会が団結すれば、このように大きな学会大会も成功させることができます。ぜひ、6年後の大会運営にも積極的に関わっていただきたいと思っております。最後に、今回の学会大会が、これからの包括化する医療、介護の発展、士会員のさらなるアイデンティティ向上に役立つことを期待します。



近畿理学療法学会の様子

平成 29 年度第 4 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録 (要約)

開催日時：平成 29 年 10 月 12 日(木) 18 時 10 分～ 20 時 20 分

開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション科控室

出席理事：本白水博、平岩康之、松岡昌巳、吉田環、柴田健治、川崎浩子、酒井英志、堀口幸二、石井隆

出席監事：前川昭次 **現在理事数**：11 名 **監事数**：2 名 **議長**：本白水博

○報告事項

各部・各委員会報告

【事務局】

総務部 (平岩副会長)

- (1) 2017 年 10 月現在会員 1011 名 (内 10 名手続き中)
- (2) 全国事務局長会議 (9 月 3 日) 報告
 - ・収益モデル事業は 6 士会に決定
 - ・住民主体型総合事業
 - ・生涯学習制度の変更 (H33 年) 原案
 - ・日本理学療法士協会理学療法講習会各研究会からの公募は講習会事業部が受付窓口となる。協会からの助成は 50 件のみであるが、助成なしでの講習会も認められる。
 - ・協会会費の前納制を平成 30 年度から実施。平成 30 年 3 月までに翌年度の会費を納めないと 4 月は会員権利停止、2 年分未納の者は 6 月までに未納者退会処理となる。特に年度当初に研修会参加には注意が必要である。
- (3) 圏域リハビリテーション支援委託事業に関して POS コア会議を 8 月 24 日、9 月 15 日、9 月 27 日に開催した。

【学術局】

学術誌部 (吉田理事)

- (1) 学術誌の原稿寄稿状況 特別寄稿 3 件中 2 件、学会長推薦 3 件中 1 件が受領済である。例年よりも一般投稿は少なめである。

教育部 (吉田理事)

- (1) 研究助成は現在申し込みなし。

【社会局】

診療報酬部 (柴田理事)

- (1) 情報交換会 11 月 3 日野洲病院

介護保険部 (柴田理事)

- (1) 部会実施 11 月 7 日

公益事業部 (酒井理事)

- (1) リレーフォーライフジャパンウオーキング 11 月 8 日 滋賀医大

災害対策部 (堀口理事)

- (1) 国際医療技術財団 (JIMTEF) の第 7 回災害医療研修アドバンスコース (11 月 11 日～ 12 日) へ東貴之会員を推薦した。

障がい者スポーツ支援部 (石井理事)

- (1) 部会実施 11 月 10 日

地域包括ケア推進部 (松岡副会長)

- (1) POS コア会議では現場レベルで来年度の計画を作成中である。
- (2) 協会研修「都道府県 地域包括ケアシステム推進研修会」では湯本会員を推薦した。

各会議報告

公衆衛生学会実行委員会 (柴田理事)

- (1) 今後、当士会では学会長等表彰の推薦を推進していく。

総合リハビリテーション推進会議 (石井理事)

- (1) 地域リハビリテーション人材育成研修に定員 15 名のところ 42 名に応募があった。そのうち PT は 26 名であった。全員が参加した。

組織運営協議会 (旧士会長会議) (本白水会長)

- (1) 介護現場を守るための署名 100 名分
- (2) 表彰規定の変更 士会で計画的に推薦可能となる。
- (3) 士会理事育成研修予定 平成 30 年 2 月～
- (4) 地域包括ケア推進リーダー上位研修予定・リーダー研修修正予定 予防リーフレットの改正
- (5) 生涯学習システム平成 33 年 4 月スタート
- (6) 会費納入期限変更への周知のお願い 会員資格停止者の対応

「楽天カード」支払いの促進

- (7) PT 週間 全国一斉に住民主体の介護予防を実施（シルリハ） 来年度の計画を取り入れる
- (8) 養成校指定規則変更
 - ・ 17年ぶり 今後は5年毎に実施 93単位から97単位へ そして101単位へ最大105単位まで可能 OT協会との折衝 103単位
 - ・ 外部評価制度の導入 5年毎 4年生教育
 - ・ 教員資格 5年以上の経験者・研修受講
 - ・ 実習指導者 研修を受けることが条件 2～3日間 平成32年度から開始士会で研修会実施

その他

- 1) 高校生理学療法体験について
県教育委員会より県該当課へ打診があり、士会として前向きに検討していくこととなった。
- 2) 執行理事業務執行状況
該当理事より執行状況が文書により報告された。
- 3) 県内養成校の在り方と需給状況について
平成28年度滋賀県リハビリテーション提供体制現況調査(病院)、〔参考〕養成計画案～2040年に向けた2025年の確保数～等の資料をもとに理事間で意見交換した。

○審議事項

第1号議案 提出：平岩副会長

議案内容：本年度入会者の承認について

審議内容・結果：本年度入会について98名が申請している。検討の結果、全員の入会を承認した。

第2号議案 提出：本白水会長

議案内容：平成30年度基本方針について

審議内容・結果：

【組織基盤強化】①事務局機能強化②会員千名体制に対応できる組織体制 【理学療法能力の向上】③管理者の育成とネットワークの構築④専門領域研究会の発展に向けた支援⑤新たな生涯学習教育システムの推進 【地域社会のニーズに対応できる組織】⑥地域包括ケアシステムの推進⑦国体に向けたスポーツ支援・障がい者スポーツ支援⑧新たな職域拡大に向けた取り組みの推進を柱にした基本方針案が提出され、異議なく承認された。

第3号議案 提出：本白水会長

議案内容：12月拡大理事会について

審議内容・結果：各部・委員会からのヒアリングにおいて予算案について十分に吟味する必要がある。そのため、12月理事会は時間の制約上開催しないことが承認された。部長と理事は事前に慎重に検討することとすることが付託された



地域ケア会議入門研修

(地域包括ケア推進リーダー導入研修・地域ケア個別会議研修 合同開催)

今年度より地域包括ケア推進リーダー導入研修と地域ケア個別会議研修を合同で開催致します。地域包括ケア推進リーダー取得者で平成27・28年度に地域ケア個別会議研修を受講されていない方に関しては、午後から地域包括ケア推進リーダー導入研修と地域ケア個別会議研修を合同開催致しますので、午後から受講いただくようお願い申し上げます。

日 時：平成30年2月25日(日) 9:30～16:00 (受付9:15～)

※平成29年度地域包括ケア推進リーダー導入研修は1日受講が必須です。

※午後(開始13:00 受付12:30)からは地域ケア個別会議研修と合同開催です。

※午後からの研修は士会指定事業に適應されます。

開催会場：近江八幡市立総合医療センター 1階よしぶえホール

講 師：

(午前) 森 智子氏、奥長 陽介氏

(午後) 杉澤 輝彦氏、中井 洋介氏、鈴木 雅晴氏、岡本 理宏氏、

川見 員令氏、阪下 浩平氏

受付期間：平成29年12月11日(月)～平成30年1月31日(水)

定 員：80名

対 象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、及び関連職種

参加費：無料

申込先：rehabili@yasu-hp.jp

申込期間内に上記 e-mail アドレスまでメールにてお申し込み下さい。

県士会員の方は、①会員番号②氏名(フリガナ)③所属④TEL を必ずご明記の上お申し込み下さい。他士会員・他職種の方は、①氏名(フリガナ)②職種③所属④TEL を必ずご明記の上お申し込み下さい。なお、件名には必ず「(1日)地域包括ケア推進リーダー導入研修申込」とご明記下さい。地域ケア個別会議研修を受講の方は、「(午後)地域ケア個別会議研修申込」と明記下さい。

【注意点】

※導入研修受講前までに e-ラーニングを終了して下さい。導入研修は、e-ラーニング受講修了者または e-ラーニング受講免除の方が対象となります。e-ラーニング受講未修了の方も、導入研修を受講いただくことは可能ですが、履修済とはなりませんので、ご注意ください。

※ e-ラーニングの免除申請をされる方は、導入研修開催の1週間前までの免除申請をしていただきますよう、お願い致します。

※定員超過の場合は、県士会員で e-ラーニング受講修了者または免除申請者を優先します。

【地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度の一部変更点】

2015年度からは、「新人教育プログラム修了者」が対象となります。

詳細は、公益社団法人日本理学療法士協会 HP 内

地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度「2015年度からの推進リーダー制度の一部変更点」にて、ご確認くださいませようお願い致します。

問い合わせ先：野洲病院 リハビリテーション課 中井

TEL：077-587-1332 Mail：rehabili@yasu-hp.jp

第33回滋賀県理学療法学会のご案内

【テーマ】 データで開く理学療法の未来

【日時】 平成30年7月8日(日)

【場所】 ひこね燦パレス 多目的ホール 滋賀県彦根市小泉町 648-3

【内容】 市民公開講座 『膝の痛みに対する治療』(仮)

講師：角田 恒氏

彦根市立病院 整形外科 部長

教育講演 『初めての学会発表で困らないために』-研究デザインから考察の考え方まで-(仮)

講師：山内 正雄氏

首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 理学療法科学域 特任教授

認定理学療法士(徒手理学療法) 専門理学療法士(運動器)

一般演題発表

【演題募集要項】 [1] 今大会の演題発表概要

口述発表、ポスター発表形式で行います。

[2] 発表時間

口述発表、ポスター発表：1 演題につき 10 分

(発表時間 7 分、質疑時間 3 分)

[3] 応募資格

筆頭演者は、公益社団法人 滋賀県理学療法士会会員に限ります。

[4] 応募方法

抄録の投稿をもって受付と致します。

応募先 E-mail アドレス

reha@municipal-hp.hikone.shiga.jp

受付確認のため学術部より返信メールを送信します。2 週間以内に返信がない場合やご不明点があればお手数ですが当局(下記連絡先)までご連絡下さい。

[5] 応募期限

平成30年3月9日(金) 17時まで

[7] 演題審査及び決定通知

演題の採択は、本学術大会準備委員が定めた演題審査員（査読者）による審査結果を参考に大会長が決定し、発表形式についても事務局の判断で通知致します。平成30年4月末日までに応募者のメールアドレス宛に通知致します。

[8] 抄録の作成

抄録集の事前配布を予定しています。『演者名』『所属』『キーワード（3つ）』『本文』の順でWindows版Microsoft Wordにて作成し、電子メールに添付してください。

様式は縦A4用紙に横書きにて、一行の文字数は26文字以内、行数は50行以下とし、印字範囲が横8.5cm、縦25.0cmの長方形におさまるようにしてください。

文字の大きさ等については、演題名はMSゴシック体12ポイント、その他の文字はMS明朝体10.5ポイントに設定してください。

本文には【目的】、【方法】、【説明と同意】、【結果】、【考察】、【まとめ】、などの小見出しを付け文字数は全角換算で1,000文字以内としてください。

機種依存文字、外字は使用しないでください。図表は抄録に含めないでください。

抄録中に倫理規定に関する記述がない場合には登録できませんので、注意してください。

[9] 公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載

公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載・投稿を推薦する場合があります。

[10] 発表演題申し込みに関する問い合わせ、および抄録の問い合わせ先

彦根市立病院 リハビリテーション科

林 延幸

Tel 0749-22-6050



滋賀県理学療法士会・滋賀県作業療法士会・滋賀県言語聴覚士会 共同主催 第8回滋賀県訪問リハビリテーション実務者研修会

今年度も、日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会そして全国訪問リハビリテーション振興委員会が主催し、実務者研修会の開催を企画いたしました。「診療介護報酬同時改定・同職種連携・地域資源の情報交換と知識の共有」をテーマとして、情報提供・話題提供・事例報告・グループワークなど、皆さんに興味を持っていただき実践で活用できるよう企画しています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。「滋賀県で訪問リハに携わるセラピスト、携わりたいセラピスト、いつか訪問リハをの思いのあるセラピスト・皆さん集まりましょう！そして語り合しましょう。」皆さんにお会いできることを楽しみにしています。ともに学びましょう。

開催日時：平成30年1月13日(土) 13:30～17:30(受付13:00より)

平成30年1月14日(日) 9:00～16:30

会場：近江八幡市立総合医療センター よしぶえホール(昼食は各自で、ご用意ください)

参加費：三士会会員 無料、非会員2000円

参加対象：現在訪問リハに携わっているセラピストはもちろん訪問リハに興味のあるセラピスト、未経験者。

内容：診療報酬・介護報酬同時改定情報と展望

同職種連携・急性期～回復期～訪問の事例報告とグループワーク

活動・参加に生かす地域資源についての講義とグループワーク

活動・参加3事例報告とグループワーク

申し込み：2日間の参加にてお願いします。

各事業所単位で、申し込みください。(定員60名程度)

申し込み締め切り：12/25 必着

*メールにて ①所属②氏名(ふりがな)③職種

④各協会会員番号 ⑤訪問経験年数 を記載の上、お申込み下さい。

申し込み・問い合わせ先：

老人保健施設リハビリセンターあゆみ

Fax 0748-42-0111 電話：0748-42-3355 深津まで

メールアドレス：shigahoumon@yahoo.co.jp



平成 29 年度 内部障害系理学療法研究会 第 1 回 定例研修会のご案内 『重複障害のリハビリテーション』

日 時 平成 30 年 2 月 4 日 (日) 10:00 ~ 16:00 (受付 9:30 ~)

会 場 滋賀医科大学医学部附属病院 別館 2 階 大会議室

参加費 県士会員・学生 無料

県士会外・会員外 (OT、ST 等) 1,000 円

内 容

『心腎連関を理解しリハビリテーションに生かす』

神谷 健太郎 (北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 講師)

『心肺機能を理解しリハビリテーションに生かす』

岩井 宏治 (滋賀医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 主任)

『一次救命と基本処置』

小越 優子 (滋賀医科大学医学部附属病院 救命看護認定看護師)

参加申込

下記の必要事項を明記の上、メールにてお申し込みください。

rehabili@yasu-hp.jp@nospam

※お手数ですが、@nospam を削除の上、送信してください。

①氏名 ②所属 (所属士会、所属病院) ③職種 ④ TEL

申込受付期間 平成 30 年 1 月 14 日 (日)迄

件名には必ず『内部障害研修会申し込み』とご明記ください。件名に入力がない場合には、迷惑メールと判断がしにくくなり、申し込みを見落とす可能性があります。また受講申し込みが確認されましたらその旨をメールにて返信致しますが、メールのブロックにより返信できない場合があります。受講申し込みの前には必ず受信許可をご確認ください。返信がない場合は受講申し込みができていない可能性があります。下記担当者までお問い合わせください。

問い合わせ先

野洲病院 リハビリテーション課 中井、神田 (077-587-1332)





公募事業報告

滋賀県理学療法士会ゴルフコンペ

今年度も、平成 29 年 9 月 3 日（日）に名神栗東カントリー倶楽部にて厚生部公募事業として滋賀県理学療法士会ゴルフコンペを開催させて頂きました。当日は 18 名のご参加を頂き、残暑も心配されましたが、秋の訪れを感じる晴天に恵まれました。遠く離れた台風の影響で??大きく右に左にショットを曲げてしまう方々、それぞれ思い通りのプレーができたかどうかはわかりませんが、日々の情報交換やスイングの動作分析も交えながら皆様とつかの間の楽しい時間を過ごすことができました。日常とは離れて青空と緑豊かな自然の中、県士会員が交流できたことは、非常に有意義な時間が過ごせたのではと思います。今年度は、接戦の中、草津ケアセンターの濱田さんが素晴らしいスコアで優勝されました。

今後も、このような企画をしていきたいと考えております。その際は、是非、より多くのご参加を頂き大いに盛り上がりましょう。

豊郷病院 磯寄 浩司



会長行動録

平成 29 年

- 9 月 9 日（土） 執行理事会
- 9 月 18 日（月） 協会懲戒委員会（東京）
- 10 月 7 日（土） 橘学園記念式典
- 10 月 7 日（土） 協会理事・士会長親睦会

- 10 月 8 日（日） 組織運営協議会（東京）
- 10 月 12 日（木） 理事会
- 10 月 16 日（月） 医療審議会（医療計画部会）
- 10 月 19 日（木） 介護給付費審査委員会
- 10 月 25 日（水） 近畿学会準備委員会

こ ン な 本

読みました!



野洲病院

川村 瑞季

【題名】
ナースコール!
こちら蓮田市
リハビリテーション病院

【著者名】
川上 遼行

【出版社】
ポプラ文庫



私が理学療法士として働き始め、早や1年半が経過しました。自分自身がこの1年半の間で成長しているかを考えると、自信を持って「はい、成長できました。」ということは出来ません。実際の臨床現場を経験し、患者様一人一人と向き合うと、それぞれの想いは違い訴える内容も様々です。私は、出来る限り患者様に寄り添い、満足と自信を持って退院生活を送れるようにと日々臨床に取り組んでいます。そんな中、順調に機能面は改善し、入院前の生活と同じ程度回復したにも関わらず、何か物足りない。と感じる事や治療に悩む事も多く、「今のままでいいのだろうか。」と考える事も増えました。そんな私が、偶然書店で目に付いたのがこの本でした。

本書は、リハビリテーション病院で働く看護師2年目の玲子が、「頑張る気力」や「努力する意味」を見失っている時、新しく赴任してきた若い医師小塚太一に「リハビリってどんな意味?」と問いかけられるが答えられず。その一言で悩み・迷い、「リハビリの本当の意味」を模索し、医師と療法士と看護師と患者、チーム医療の中で成長していく玲子の姿を描いた爽やかで新しい医療小説です。今の私と重複する部分や共感出来る部分も多く、つい夢中になって読んでしまいました。初心に帰って、「リハビリとは?」「チーム医療の在り方」「人と人との繋がり」を考えさせてくれる、良い機会を与えてくれた一冊です。興味ある方は是非ご一読下さい。

こ ン な 本

読みました!



大津市社会福祉事業団

並河 孝

【題名】
認知症になってもだいじょうぶ!
そんな社会を創っていこうよ

【著者名】
藤田和子

【出版社】
徳間書店



著者は、看護師であり認知症の義母の介護を経験してきたが、その後自らも若年性アルツハイマー病と診断された。絶望の中であったが、あきらめずに前に進み続け本の題名のように、地域で一緒に住み続けられる“そんな社会を創っていこうよ”と訴えかける。認知症の人をしっかりと理解して頂き、かわいそうとか、その人に合わせてあげた方が本人・家族共に楽で幸せと思われることに異議を唱えている。患者は病気で、外から薬や手術等の治療で治すものというイメージが医療専門職に多く、病気で苦しむ人を治すということに欠けている。特に認知症本人に視点を当てて声を聴くということをしてこなかった医療者に看護師として訴えかけている。義父母を看取ったあと、看護師の仕事再開し家事、実家、人権活動で忙しくしている中「おかしいな」と思うことがおきるようになってきて、一年後に若年性アルツハイマー病と診断された。現在は若年性認知症問題にとりくむ会『クローバー』を立ち上げ、その後海外で先進的に取り組んでいるワーキンググループの活動を知り、当事者と話し合い日本認知症ワーキンググループを立ち上げるといった非常にバイタリティに活動されている女性である。著者が最初に不安だったことが印象に残っている。アルツハイマー病は治らない病気で、判で押したように「10年後は寝たきりになる」「自分のことがわからなくなる」という絶望的な情報しかなく、アルツハイマーになったらダメという偏見が強かった。そんな中、認知症とともに生きるための備えを早い時点でスタートさせればさせるほど自分らしく生きていけると述べている。隠すことより、家族・地域の人に伝えることにより、周囲の人と一緒に支え合える社会を作り上げることを提案している。まだまだ認知症の原因もわからず問題も多いが、『認知症になっても安心して希望と尊厳を持ちながら生活できる地域社会にしていかなければならない』と強く感じた一冊である。

事務局 だより

12月分

- 会員数 1016名 うち新入会手続き中 10名
 - 賛助会員 5社
- 連絡不能者が21名に増えています。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ
<http://www.japanpt.or.jp/>

会員異動について

会員異動の手続きができていないことでトラブルが増えています。

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、マイページからお手続きください。異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送物がお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いいたします。

ユーザー名やパスワードをお忘れの場合は「ID・パスワード」再発行申請書を協会に送付して再発行していただく必要がありますのでご注意ください。申請書は協会ホームページの異動・休会・復会等の手続きのページからダウンロードできます。

施設名の変更がありましたら、所属施設の責任者の方のマイページから修正が出来ます。出来ない場合は平岩までお知らせください。

発送物は昨年度から会員区分が施設の方は所属施設の方へ発送することになりました(PT協会からの発送物を除く)。

会費未納の方へ

会費の未納の方は速やかにご入金ください。

2年以上未納になりますと、自動退会となりますのでご注意ください。

一旦退会となりますと、新プロもりセットされ、これまでためられたポイントも無効になります。協会の損害賠償保険も継続できなくなりますのでご注意ください。

詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

日本理学療法士協会ホームページ
<http://www.japanpt.or.jp/>

会員異動、会費関係問い合わせ先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

平岩康之 宛

問い合わせ info@shiga-pt.or.jp

**来年(2018年)の年会費から、
会費納入期限が3ヶ月早まります!!**

2018年度より、事業年度が開始する4月以前に、会費を納入いただくことになりました。

納入期限 3月31日

楽天カード 口座振替 2018年3月27日引落

引落登録のない方 2018年3月上旬より振込用紙順次発送予定

今までは6月末までに当年度会費を納入していただければ、会員としての権利をすべて行使いただくことが可能でしたが、2018年からは年度開始前の3月末までに納入がなかった場合は、4月より会員権利全面停止とさせていただきます。また、6月末までに納入がなかった方は会員資格喪失により退会となります。ご注意ください。

会員の皆様へご協力をお願い

<p style="font-size: x-small;"><4月以降の異動が決定した方> (特に県外へ異動される方)</p> <p style="font-size: x-small;">2018/1/1以降、お早めに異動申請をお手続きください。 (2/20までに申請された方は異動先の士会所属としてご請求します)</p>	<p style="font-size: x-small;"><2018年度の休会・復会・退会を希望される方></p> <p style="font-size: x-small;">2018/1/1~2/20にお手続きをお願いします。 (2/21~3/31の手続きは、年会費引落後に返金となる場合がございます。)</p>	<p style="font-size: x-small;"><振込でお支払されている方></p> <p style="font-size: x-small;">決済方法を楽天カードもしくは口座振替へ変更ください。 請求書が発送されてから納入期限までの期間が今までより短くなります。納入忘れのないよう、お早めに引落への切替えをお願いします。</p>
---	--	--

詳細は、日本理学療法士協会HPの「年会費」ページまたはFAQよりお問合せください。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当： 本白水

✓ 入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

✓ 財務関係 公文書発送

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月25日までにお申し出ください。折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体込など）。各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

✓ 研修関係 研修部

ptshigakennsyukai@yahoo.co.jp 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokembu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江

電話 /FAX は 0748-62-3081

✓ 診療報酬部

rehabill@yasu-hp.jp 担当：野洲病院 辻村

TEL : 077-587-1332 FAX : 077-587-5004

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷

TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

編集後記

早いもので、あっという間に一年が過ぎようとしています。

ただ、時に流されるのではなく、毎日一つ一つ経験を蓄積していけるように努力していきたいと自分に言い聞かせています。

A・O



滋賀医療技術専門学校

SHIGA SCHOOL OF MEDICAL TECHNOLOGY

リハビリテーション医学を学ぼう！



理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制

学費は3年間で300万円

滋賀県で唯一のリハビリテーションのプロを養成する学校

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967
学校法人 藍野大学
滋賀医療技術専門学校

TEL :0749-46-2311/FAX:0749-46-2313
E-mail:shiga@aino.ac.jp
<http://shiga.aino.ac.jp/>